

## 公 示

国立大学法人金沢大学学長選考規則（以下「選考規則」という。）第 11 条第 1 項の規定に基づき、次期学長最終候補者を決定したので、選考規則第 11 条第 4 項の規定に基づき下記のとおり公示する。

令和 3 年 10 月 21 日

国立大学法人金沢大学学長選考会議

### 記

- 1 次期学長最終候補者 和田 隆 志（わだ たかし）
- 2 任 期 令和 4 年 4 月 1 日から令和 8 年 3 月 31 日まで
- 3 選考理由

国立大学法人金沢大学学長選考会議は、選考規則第 7 条に基づき学長候補者の推薦を求め、「全ての部局等選出の推薦人 14 名による推薦」及び「役員並びに本学の専任の教授、准教授、講師及び助教並びに係長以上の職員及び係長相当職以上の職員 30 人による推薦」の方法により、和田隆志氏（現国立大学法人金沢大学理事・副学長）が推薦された。

同氏について、選考規則及び令和 3 年 4 月 23 日に公示した金沢大学学長選考方針に基づき、金沢大学長に求められる資質及び能力を有しているか審議を行い、学長候補者の資格を有している者であることを全会一致で決定した。

その後、所信調書及び所信等説明会により、大学運営全般、教育・研究・社会貢献・国際交流等に関する同氏の構想を確認した。

次に、金沢大学の役員及び教職員を対象とした意向聴取Ⅰを実施した。その結果、全ての項目について、S 評価（4 段階評価：S A B C）が最も多いことを確認した。特に人格が高潔で、学識が優れ、教育に関し識見を有すること、大学の自主性、自律性、社会性を尊重し、世界の学術の発展に寄与するとともに、グローバル社会及び地域社会で活躍できる人材育成を推進できることに S 評価が多く、本候補者に対する教職員の評価が高いと判断できることを確認した。

また、意向聴取Ⅱにより、金沢大学の各系統等の代表者から、同氏の人格が高潔で、対話を重視した運営を推し進めようとしている点が高く評価され、大学一体となった改革の推進についての期待が示されたことを確認した。

さらに、同氏との面談を実施し、これまでの約半年間にわたる各種手続きの内容を総合的かつ慎重に審議した。

その結果、学長選考方針で定める学長に求められる資質及び能力を十分に有し、金沢大学に求められる社会的役割及び金沢大学の現状を十分に認識し、金沢大学憲章の理念に立脚した明確な未来像を掲げ、金沢大学の強みや特色を最大限に活かした大学改革を積極的に推進できる人物であると判断し、同氏を次期学長最終候補者とすることについて全会一致で決定した。

4 当該決定に係る経緯

- (1) 学長選考方針及び選考日程公示（令和3年4月23日）
- (2) 学長候補者の推薦期限（令和3年6月15日）  
・和田隆志氏 1名の推薦を受理
- (3) 学長候補者公示（令和3年6月17日）
- (4) 学長候補者の所信公示（令和3年8月2日）
- (5) 所信等説明会の実施（令和3年8月27日）
- (6) 意向聴取Ⅰ（役員及び教職員）の実施  
（令和3年9月8日～9月10日）
- (7) 意向聴取Ⅱ（各系統等の代表者）の実施  
（令和3年9月21日～9月22日）
- (8) 学長候補者との面談（令和3年10月20日）
- (9) 次期学長最終候補者の決定（令和3年10月21日）  
・和田隆志氏を次期学長最終候補者に決定